

地方独立行政法人静岡市立静岡病院中期計画(案)  
【中期目標との対比表】

目 次

**第1 中期計画の期間**

**第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置**

- 1 地域医療を支える要としての静岡病院
  - (1) 広大な市域を支える要としての活動
  - (2) 救急医療
  - (3) 高度医療
  - (4) 政策医療
  - (5) 災害時医療
- 2 医療の質の向上と人材の確保
  - (1) 総合的な診療とチーム医療の実施
  - (2) 先進医療機器や設備の整備
  - (3) 医療職の確保、知識の取得、技術の向上
  - (4) 臨床研修医の育成
  - (5) 調査・研究、治験の実施
- 3 医療の安全性と信頼性の向上
  - (1) 十分な情報提供と適切な取扱い
  - (2) 医療安全管理等の徹底
  - (3) 市民への積極的な広報
- 4 利用しやすく快適な病院づくり
  - (1) 患者第一の病院づくり
  - (2) 患者ニーズに応じた医療・病院環境の提供
- 5 市及び医療関係機関との連携、国内外医療関係機関との交流
  - (1) 市立病院としての市との連携
  - (2) 医療・保健・福祉・介護関係機関との連携
  - (3) 国内外医療関係機関との交流

**第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置**

- 1 働きやすい職場環境と職員のやりがいづくり
  - (1) 働きやすい職場環境の整備
  - (2) 職員のやりがいと満足度の向上
- 2 業務運営体制の構築
  - (1) 医療環境の変化に迅速・柔軟に対応できる体制の構築
  - (2) 市民との連携・協働による病院運営の実施
  - (3) 外部評価等の活用
  - (4) 事務部門の強化
  - (5) 法令の遵守等

**第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置**

- 1 健全経営の維持
  - (1) 安定的な経営の維持
  - (2) 収入の確保、費用の節減
  - (3) 計画的な投資の実施

**第5 その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためとるべき措置**

- 1 地球環境に配慮した病院運営

第6 予算(人件費の見積りを含む)、収支計画及び資金計画
第7 短期借入金の限度額
第8 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが 見込まれる財産の処分に関する計画
第9 「第8」の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画
第10 剰余金の使途
第11 料金に関する事項
第12 その他市の規則で定める業務運営に関する事項

中期目標	中期計画																
前文(略)	前文(略)																
第1 期間(H28年4月1日～H31年3月31日)	同左																
第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置																
1 地域医療を支える要としての静岡病院	同左																
(1) 広大な市域を支える要としての活動	同左																
<p>- 中山間地を含む広大な市域を有する本市において、市民が安心して日々の生活を送るため、都市部や中山間地の住民が等しく医療についての理解を深める活動を行うこと。 また、将来を担う若者を対象に、医療及び医療職に対する理解を深める活動を行うこと。</p>	<p>- 本市の都市部及び中山間地域において、「静岡市民『からだ』の学校」を開催し、市民へ医療情報を発信します。 また、教育関係機関と連携しながら生徒に対しても情報提供を行い、医療及び医療職についての理解を促進します。 上記について専門的に対応する部署として「医療がつなく『ひと』と『地域』の交流センター」を設置します。</p> <p>関連指標</p> <table border="1" data-bbox="778 584 1166 792"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>静岡市民「からだ」の学校開催</td> <td>都市部2回 山間部2回</td> </tr> <tr> <td>高校生を対象とした病院体験セミナー開催</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>中学生を対象とした職場体験学習</td> <td>25名</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	静岡市民「からだ」の学校開催	都市部2回 山間部2回	高校生を対象とした病院体験セミナー開催	2回	中学生を対象とした職場体験学習	25名								
項目	平成26年度実績																
静岡市民「からだ」の学校開催	都市部2回 山間部2回																
高校生を対象とした病院体験セミナー開催	2回																
中学生を対象とした職場体験学習	25名																
(2) 救急医療	同左																
<p>- 地域の救急医療を担う中核的な病院として、本市の救急医療体制のもと、他の医療機関と連携しながら、引き続き365日24時間の「ことわらない救急」を実践し、市民が安心できる救急医療を提供すること。</p>	<p>- 他の医療機関と連携しながら365日24時間の「ことわらない救急」を継続します。 また、高度な救急医療の提供のために、新たに「救急科」を設置します。</p> <p>成果指標</p> <table border="1" data-bbox="778 981 1299 1133"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成24～26年度平均実績</th> <th>平成30年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急搬送患者数の市内公的病院全体の中での当院が占める割合</td> <td>23.0%</td> <td>23.0%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>関連指標</p> <table border="1" data-bbox="778 1182 1166 1335"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急患者数</td> <td>13,655人</td> </tr> <tr> <td>救急車搬送数</td> <td>5,983人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成24～26年度平均実績	平成30年度目標	救急搬送患者数の市内公的病院全体の中での当院が占める割合	23.0%	23.0%以上	項目	平成26年度実績	救急患者数	13,655人	救急車搬送数	5,983人				
項目	平成24～26年度平均実績	平成30年度目標															
救急搬送患者数の市内公的病院全体の中での当院が占める割合	23.0%	23.0%以上															
項目	平成26年度実績																
救急患者数	13,655人																
救急車搬送数	5,983人																
(3) 高度医療	同左																
<p>- 本市の基幹病院として、高度医療を提供する必要があるが、特に次の点について重点的に取り組むこと。</p>	<p>- 本市の基幹病院として、高度医療を提供する必要がありますが、特に次の点について重点的に取り組みます。</p>																
<p>① 心疾患 「心臓なら静病」という市民の期待にしっかり応えるため、「ハートセンター」において、地域の心疾患治療を牽引する専門性の高い先進的な治療を行うこと。</p>	<p>① 心疾患 「ハートセンター」において、循環器内科と心臓血管外科が連携して、従来から高い実績を持つ心臓血管手術やカテーテル治療などの幅広い専門的な治療を行うとともに、CTや血管造影を行いながら手術ができるハイブリッド手術室や経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)などによる先進的な医療を行います。</p> <p>関連指標</p> <table border="1" data-bbox="778 1671 1166 2085"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓血管外科</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手術総数</td> <td>831件</td> </tr> <tr> <td>開心術</td> <td>344件</td> </tr> <tr> <td>循環器内科</td> <td></td> </tr> <tr> <td>心臓カテーテル検査</td> <td>2,481件</td> </tr> <tr> <td>冠動脈インターベンション</td> <td>504件</td> </tr> <tr> <td>TAVI</td> <td>12件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	心臓血管外科		手術総数	831件	開心術	344件	循環器内科		心臓カテーテル検査	2,481件	冠動脈インターベンション	504件	TAVI	12件
項目	平成26年度実績																
心臓血管外科																	
手術総数	831件																
開心術	344件																
循環器内科																	
心臓カテーテル検査	2,481件																
冠動脈インターベンション	504件																
TAVI	12件																

中期目標		中期計画											
	<p>② がん 地域がん診療連携拠点病院として、日進月歩の様々な治療方法に的確に対応した先進的で質の高いがん治療を行うこと。</p>	<p>② がん 手術支援ロボット「ダヴィンチ」による前立腺がん手術以外への新たな展開や「リニアック」による放射線治療を継続して実施します。 また、新たにPET-CTの導入により画像診断の充実を図るなど、がん診療体制を強化していきます。</p> <p>関連指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前立腺がん手術件数</td> <td>65件</td> </tr> <tr> <td>がん手術件数</td> <td>834件</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数</td> <td>252件</td> </tr> <tr> <td>疾病分類別(新生物(悪性))入院患者数</td> <td>2,533人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	前立腺がん手術件数	65件	がん手術件数	834件	放射線治療件数	252件	疾病分類別(新生物(悪性))入院患者数	2,533人	
項目	平成26年度実績												
前立腺がん手術件数	65件												
がん手術件数	834件												
放射線治療件数	252件												
疾病分類別(新生物(悪性))入院患者数	2,533人												
(4) 政策医療		同左											
-	公的病院として、市民ニーズに応じて採算性にかかわらず必要な医療を提供していかねばならないが、特に次の点について重点的に取り組むこと。	-	公的病院として、市民が日々安心して暮らすために必要な医療を提供していかねばなりません、特に次の点について重点的に取り組みます。										
①	感染症及び精神疾患患者身体合併症 本県で唯一の第一種感染症指定医療機関としての役割を果たすとともに、精神疾患患者の身体合併症に対応する医療を提供すること。	①	感染症及び精神疾患患者身体合併症 本県で唯一の第一種感染症指定医療機関であり、また、本市において重要な役割を担う第二種感染症指定医療機関であるため、その役割を果たせるようエボラ出血熱などの感染症患者にも対応できる医療体制を確保し、迅速な患者の受け入れに備えるとともに、精神疾患患者の身体合併症治療を行います。										
②	周産期及び小児 本市で子どもを安心して産み育てることができるよう、専門的な周産期医療や小児医療を提供すること。	②	周産期及び小児 本市で子どもを安心して産み育てることができるよう、専門的な周産期医療や小児医療を提供します。										
			<p>関連指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科患者数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  入院</td> <td>1,241人</td> </tr> <tr> <td>  外来</td> <td>2,637人</td> </tr> <tr> <td>分娩件数</td> <td>287件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	小児科患者数		入院	1,241人	外来	2,637人	分娩件数	287件
項目	平成26年度実績												
小児科患者数													
入院	1,241人												
外来	2,637人												
分娩件数	287件												
③	生活習慣病 超高齢社会の到来に伴い、患者数の増加が予想される糖尿病等の生活習慣病などに対して専門的な医療を提供すること。	③	生活習慣病 糖尿病、動脈硬化、高血圧症などの生活習慣病について、幅広く専門的な医療を提供するとともに、講習会などの予防に係る啓発活動も行います。										
			<p>関連指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養指導件数</td> <td>2,750人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	栄養指導件数	2,750人						
項目	平成26年度実績												
栄養指導件数	2,750人												
(5) 災害時医療		同左											
-	南海トラフ巨大地震等の発生が想定される中、静岡病院には災害時における重症患者の受け入れ等の中核的な医療の提供が求められる。 災害拠点病院として、日頃から、その発生に備え、人的・物的資源を整備し、訓練を行い、発生時には関係機関と連携しながら、また自らの判断で必要な対応を迅速に行うこと。	a	地震防災対策マニュアル等について病院機能の損失度に応じた見直しを行うとともに、災害対応の訓練を日頃から行い、発生時には、関係機関と連携しながら、また自らの判断のもと、必要な医療救護活動を迅速に実施します。										
			<p>関連指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災訓練</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>研修など</td> <td>4回</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	防災訓練	2回	研修など	4回				
項目	平成26年度実績												
防災訓練	2回												
研修など	4回												
		b	非常電源や水源の確保など災害時に必要となる施設・機器の更新や維持管理を行うとともに、医薬品や医療資器材、食料の必要な備蓄等を行います。										

中期目標		中期計画													
		c	<p>市外における大規模災害発生時の援助要請に応えられるよう、引き続き災害医療派遣チーム(DMAT)を編成します。</p> <p>関連指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DMAT訓練回数</td> <td>5回</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	DMAT訓練回数	5回								
項目	平成26年度実績														
DMAT訓練回数	5回														
		d	<p>大規模災害発生時等に災害現場等から重症患者を受け入れるため、ヘリポートの設置可能性を検討します。</p>												
2 医療の質の向上と人材の確保		同左													
(1) 総合的な診療とチーム医療の実施		同左													
	- 医療の高度化、複雑化に対応し、より患者に寄り添った治療を行うため、診療科や職種を超えた連携により、総合的な診療とチーム医療を提供すること。	-	<p>患者一人ひとりに最適な専門医療を提供するため、診療科や職種の枠を超えた連携により、総合的な診療とチーム医療を推進するとともに、そのための医療スタッフの養成に取り組みます。</p> <p>関連指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓リハビリ件数</td> <td>730件</td> </tr> <tr> <td>栄養サポートチーム回診件数</td> <td>70件</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム対応患者数</td> <td>35人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	心臓リハビリ件数	730件	栄養サポートチーム回診件数	70件	緩和ケアチーム対応患者数	35人				
項目	平成26年度実績														
心臓リハビリ件数	730件														
栄養サポートチーム回診件数	70件														
緩和ケアチーム対応患者数	35人														
(2) 先進医療機器や設備の整備		同左													
	- 医療の高度化への対応や、医療水準を維持するために、先進医療機器や設備等を的確に整備・更新すること。	a	<p>新たな医療機器の開発状況、他の医療機関における状況などを踏まえて、PET-CTなどの先進医療機器を整備します。</p>												
		b	<p>医療機器・施設の稼働状況や耐用年数、他の医療機関における状況などを踏まえて、アンギオグラフィ(血管撮影装置)や付帯設備の更新など、医療機器や施設を整備・更新します。</p>												
(3) 医療職の確保、知識の取得、技術の向上		同左													
	- 医師、看護師等の医療職を確保するとともに、医療の高度化、複雑化に対応するため、その専門性や技術の向上を図ること。	a	<p>地方独立行政法人の特徴を生かし、従来の定数管理や雇用形態・勤務形態にとらわれず、多様な雇用形態等を取り入れ、必要な時に必要な医療職を確保します。</p> <p>成果指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> <th>平成30年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7対1看護配置に向けた看護師の増員数(H25年度比)</td> <td>41人</td> <td>90人</td> </tr> </tbody> </table> <p>関連指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成27年4月1日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師数</td> <td>141人</td> </tr> <tr> <td>看護師数</td> <td>472人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	平成30年度目標	7対1看護配置に向けた看護師の増員数(H25年度比)	41人	90人	項目	平成27年4月1日	医師数	141人	看護師数	472人
項目	平成26年度実績	平成30年度目標													
7対1看護配置に向けた看護師の増員数(H25年度比)	41人	90人													
項目	平成27年4月1日														
医師数	141人														
看護師数	472人														
		b	<p>医師、看護師、薬剤師、医療技術者等について、院内研修の充実や研究・研修会への参加を促進するとともに、専門資格取得のため、院外の教育研修等への参加を支援します。</p> <p>関連指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門医資格取得数</td> <td>135件</td> </tr> <tr> <td>指導医資格取得数</td> <td>55件</td> </tr> <tr> <td>認定看護師数(人)</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	専門医資格取得数	135件	指導医資格取得数	55件	認定看護師数(人)	10人				
項目	平成26年度実績														
専門医資格取得数	135件														
指導医資格取得数	55件														
認定看護師数(人)	10人														
		c	<p>静岡市立看護専門学校等との連携を図り、優れた看護師の養成を支援します。</p> <p>関連指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護実習受入人数</td> <td>178人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	看護実習受入人数	178人								
項目	平成26年度実績														
看護実習受入人数	178人														
(4) 臨床研修医の育成		同左													

中期目標		中期計画													
	- 臨床研修病院として、ニーズに合致した魅力的なプログラムの構築等により教育研修機能の充実を図り、臨床研修医の育成に積極的に取り組むこと。	- 研修医の要望や社会的な要請に合致した研修プログラムの充実、研修プログラム及び指導医・研修医に対する評価による研修内容のさらなる向上により、臨床研修医の受け入れ推進と定着を図ります。 成果指標 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> <th>平成30年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研修医募集定員充足率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> 関連指標 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研修医マッチング数</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	平成30年度目標	臨床研修医募集定員充足率	100%	100%	項目	平成26年度実績	臨床研修医マッチング数	12人			
項目	平成26年度実績	平成30年度目標													
臨床研修医募集定員充足率	100%	100%													
項目	平成26年度実績														
臨床研修医マッチング数	12人														
(5) 調査・研究、治験の実施		同左													
	- より質の高い医療を提供するための調査・研究、治験に積極的に取り組むこと。	- 新しい治療法の開発等に貢献する臨床研究や治験に積極的に取り組みます。 なお、実施にあたっては、参加者の自発的意思や人権に対して最大限配慮いたします。 関連指標 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>治験実施率</td> <td>91%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	治験実施件数	5件	治験実施率	91%							
項目	平成26年度実績														
治験実施件数	5件														
治験実施率	91%														
3 医療の安全性と信頼性の向上		同左													
(1) 十分な情報提供と適切な取扱い		同左													
	- 患者との信頼関係の構築に努め、患者への十分な情報提供・説明と同意のもとに医療を提供すること。 診療情報を適切に管理するとともに、患者情報の保護及び病院に係る情報の公開に関しては、静岡市個人情報保護条例及び静岡市情報公開条例に基づき適切に対処すること。	a 常に患者やその家族の立場に立ち、誠意を持った対応を心がけるとともに、医療の提供に当たっては、インフォームドコンセント(患者へ診療の目的や内容を十分に説明し、その同意を得ること)を徹底します。 また、患者やその家族が、治療法等の判断に当たり主治医とは別の医師の意見を求めたとき、適切にセカンドオピニオン(患者及びその家族が、病状や治療法等について、主治医とは別の専門医に意見を聴くこと)を受けられる体制の整備を行います。 関連指標 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セカンドオピニオン件数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  受入</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>  紹介</td> <td>60件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	セカンドオピニオン件数		受入	19件	紹介	60件					
項目	平成26年度実績														
セカンドオピニオン件数															
受入	19件														
紹介	60件														
		b 定期的な市民公開講座や、「患者の会」への医師等による講演、医療相談等を実施し、疾病に係る患者理解を促進するとともに、病院と患者との信頼関係の醸成を図ります。													
		c 患者情報に係る保護及び病院に係る情報の公開については、市の関連条例の実施機関として、適切に取り扱います。 関連指標 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療録開示件数</td> <td>35件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	診療録開示件数	35件									
項目	平成26年度実績														
診療録開示件数	35件														
(2) 医療安全管理等の徹底		同左													
	- 市民に信頼される安心・安全な医療を提供するため、医療安全に係る情報の収集・分析を踏まえた医療安全管理を行うとともに、院内感染防止対策を実施すること。	- 医療安全管理室が中心となって、医療安全に係る情報収集及び分析、改善案の立案、院内教育研修などの医療安全管理を行うとともに、感染管理室が中心となって、感染症に係る情報収集及び分析、院内の調査・監視などの院内感染防止対策を実施します。 関連指標 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全管理委員会開催回数</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>医療安全研修会等実施数</td> <td>14回</td> </tr> <tr> <td>院内感染対策委員会開催回数</td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>院内感染対策研修会等実施回数</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>院内ラウンド件数</td> <td>週1回</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	医療安全管理委員会開催回数	12回	医療安全研修会等実施数	14回	院内感染対策委員会開催回数	15回	院内感染対策研修会等実施回数	11回	院内ラウンド件数	週1回	
項目	平成26年度実績														
医療安全管理委員会開催回数	12回														
医療安全研修会等実施数	14回														
院内感染対策委員会開催回数	15回														
院内感染対策研修会等実施回数	11回														
院内ラウンド件数	週1回														
(3) 市民への積極的な広報		同左													

中期目標		中期計画										
	- 病院の役割や機能、経営状況などについて、市民にわかりやすく情報提供すること。	- 病院の理念・基本方針、各診療科の特色や治療実績、クリニカルインディケーター、財務諸表等の経営状況などについて、病院ウェブサイトや静岡病院広報紙などを通じて、市民にわかりやすく広報します。										
		関連指標										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>静岡病院広報紙</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>年報</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	静岡病院広報紙	6回	年報	1回				
項目	平成26年度実績											
静岡病院広報紙	6回											
年報	1回											
4	利用しやすく快適な病院づくり	同左										
	(1) 患者第一の病院づくり	同左										
	- 患者の立場を第一に考え、患者に寄り添った医療の実践に向け、医療サービスの提供や施設等の整備に当たっては、患者の視点に立つて行うこと。	- 病院の基本方針として、患者にとって最善の全人的医療を実践する旨を掲げるとともに患者の権利を明示し、これらに基づいて患者の立場を常に意識しながら医療サービスの提供や病院施設等の整備を行います。										
	(2) 患者ニーズに応じた医療・病院環境の提供	同左										
	- 提供する医療や病院環境に係る患者ニーズを把握して、そのニーズに対応し、患者にとって利用しやすく快適な病院づくりを進めること。	a 患者満足度調査などによって患者ニーズを把握し、そのニーズを満たすために必要な改善を行います。										
		成果指標										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> <th>平成30年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度調査結果(概ね満足と回答した割合)</td> <td>92.6%</td> <td>90.0%以上の維持</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	平成30年度目標	患者満足度調査結果(概ね満足と回答した割合)	92.6%	90.0%以上の維持				
項目	平成26年度実績	平成30年度目標										
患者満足度調査結果(概ね満足と回答した割合)	92.6%	90.0%以上の維持										
		関連指標										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td> <td>6,702件</td> </tr> <tr> <td>患者意見件数</td> <td>137件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	医療相談件数	6,702件	患者意見件数	137件				
項目	平成26年度実績											
医療相談件数	6,702件											
患者意見件数	137件											
		b 患者にとって利用しやすい病院環境を確保するため、待ち時間調査を実施し、待ち時間を短縮できる方策を検討するとともに、待ち時間をなるべく有意義に過ごしてもらえよう、診察待ちの患者さんに対し体操指導を行うなど、改善に向けた取り組みを実施します。										
		c 胆石摘出など短期間の入院が見込まれる患者が、入院治療をもっと身近に利用できるよう、患者が利用しやすい診療体制や運用方法等を管理する専門部署の設置について検討を進めます。										
		d 患者にとって快適な病院環境を確保するため、花や緑による緑化など、安らぎの空間を院内に整備します。										
		e 市民から信頼される病院であり続けるため、職員一人ひとりが患者の立場に立った接遇の実践ができるよう病院の全職員を対象とした接遇研修を毎年実施します。										
5	市及び医療関係機関との連携、国内外医療関係機関との交流	同左										
	(1) 市立病院としての市との連携	同左										
	- 市民が必要とする高度で良質な医療を安定的、継続的に提供するという公的使命を果たして行くため、市と連携して事業を進めること。	- 市と連携しながら、市目標に基づく計画の策定、計画の実行、市評価委員会による評価、評価に基づく改善などのPDCAサイクルによる経営管理を実践してまいります。										
	(2) 医療・保健・福祉・介護関係機関との連携	同左										
	- 患者の疾病状況に応じた的確な医療の提供に向け、静岡病院の高度急性期病院及び地域医療支援病院としての役割を踏まえながら、本市医療機関の連携・ネットワークの一員として、清水病院、他の医療機関、医師会と連携し、病病連携及び病診連携を推進するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向け保健・福祉・介護関係機関と連携すること。	a 高度急性期病院及び地域医療支援病院としての静岡病院の役割を踏まえ、救急の対応や、「イーツーネット(疾病別病診連携システム)」の活用による診療所からの紹介患者の受け入れ、逆紹介などについて、他の医療機関や医師会と連携しながら取り組みます。										
		成果指標										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> <th>平成30年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>64.8%</td> <td>60.0%以上の維持</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>83.6%</td> <td>80.0%以上の維持</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	平成30年度目標	紹介率	64.8%	60.0%以上の維持	逆紹介率	83.6%	80.0%以上の維持	
項目	平成26年度実績	平成30年度目標										
紹介率	64.8%	60.0%以上の維持										
逆紹介率	83.6%	80.0%以上の維持										

中期目標		中期計画									
		b	他病院と互いに協力・補完しあい、疾患ごとの連携の強化や、患者のその時々々の病態にあった入院治療の効率的な提供など、病病連携の推進に努めるとともに、静岡市公的病院協議会における情報交換等により、他の市内公的病院との連携に取り組んでまいります。								
		c	地域包括ケアシステムの中で急性期医療を担い、退院後患者が住み慣れた地域で生活していくために、診療所、訪問看護ステーション、ケアマネージャー、在宅介護サービス事業者など多職種の関係者と連携を図ります。								
	(3) 国内外医療関係機関との交流	同左									
	- 医療の高度化、複雑化、ボーダーレス化に的確に対応するため、国内外の医療関係機関と交流し、情報交換等を行うこと。	-	学会等を通じて他の医療機関との連携を深め、また、国際協力機構(JICA)等を通じて視察団を受け入れるなど、海外医療機関とも積極的に交流します。								
第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項		業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置									
1 働きやすい職場環境と職員のやりがいづくり		同左									
(1) 働きやすい職場環境の整備		同左									
	- 職員のワーク・ライフ・バランスの推進、メンタルヘルスを含めた健康管理の実施、職場の安全衛生の確保などの職場環境の改善に努め、「働きやすい病院」にすること。	-	職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した多様な雇用形態・勤務形態の導入や、職員ニーズを踏まえた職場環境づくりを行い、院内保育所の運営、健康管理、労働安全衛生を確保するなど「働きやすい病院」にしていきます。  関連指標 <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>平成26年度実績</th></tr></thead><tbody><tr><td>院内保育所の受入人数</td><td>26人</td></tr></tbody></table>	項目	平成26年度実績	院内保育所の受入人数	26人				
項目	平成26年度実績										
院内保育所の受入人数	26人										
	(2) 職員のやりがいと満足度の向上	同左									
	- 職員の成長やチャレンジを尊重するため、職員自身の能力開発や技術向上の取組を促進するとともに、職員の職責、勤務成績等を適正に評価する人事給与制度の設定、職員相互で認め合うコミュニケーションの活性化等により、職員の意欲を引き出し、満足度を向上させること。	a	職員自身の能力開発や技術向上の取組を促進させるため、院内研修の充実や、職員の研修会等への参加支援を行います。 また、職員の職責、勤務成績等を適正に評価する人事給与制度の構築、院内外での多職種が参加する研究発表会等による職員相互のコミュニケーションの活性化などを図るとともに、定期的に職員意識調査を行い、職員の意欲を引き出し、満足度を向上させます。  関連指標 <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>平成26年度実績</th></tr></thead><tbody><tr><td>看護研究発表事例件数</td><td>15件</td></tr><tr><td>全国自治体病院協議会事例発表件数</td><td>5件</td></tr></tbody></table>	項目	平成26年度実績	看護研究発表事例件数	15件	全国自治体病院協議会事例発表件数	5件		
項目	平成26年度実績										
看護研究発表事例件数	15件										
全国自治体病院協議会事例発表件数	5件										
		b	職員の経営参画意識を高め、よりよい病院づくりに向けた取り組みを推進するため、病院の運営方針や課題についての職員間での情報共有や課題改善を検討するための会議を開催するとともに、課題改善の奨励に取り組みます。								
2 業務運営体制の構築		同左									
(1) 医療環境の変化に迅速・柔軟に対応できる体制の構築		同左									
	- 医療環境の変化に的確に対応して目標を着実に達成するため、法人が主体性をもって迅速に意思決定、行動ができるよう、理事長及び理事会を中心とした効率的で効果的な組織体制を構築すること。	-	理事長のリーダーシップと、理事会を組織することにより、迅速で明快なプロセスによる意思決定を行います。 また、組織体制の構築に当たっては、必要十分でかつ無駄のない組織体制とするとともに、戦略的な病院経営を企画・立案する機能を強化するための新たな部署を設置するなど、効率的で効果的な組織体制とします。 そして、組織体制は、医療環境の変化に応じて、弾力的に改組します。								
(2) 市民との連携・協働による病院運営の実施		同左									
	- 市民の安心・安全を支える地域医療を存続させるためには、医療機関と市民との連携・協働が必要であり、静岡病院の運営においても市民との連携・協働を推進すること。	-	地元自治会等と共同開催による市民公開講座の実施や、院内の患者誘導、移送等に係る市民ボランティアとの協働を進めるとともに、院内コンサートの実施等について、市民の協力を得た病院運営を行います。  関連指標 <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>平成26年度実績</th></tr></thead><tbody><tr><td>地元自治会等との共催事業</td><td>2回</td></tr><tr><td>ボランティア活動延べ人数</td><td>635人</td></tr><tr><td>院内コンサート</td><td>1回</td></tr></tbody></table>	項目	平成26年度実績	地元自治会等との共催事業	2回	ボランティア活動延べ人数	635人	院内コンサート	1回
項目	平成26年度実績										
地元自治会等との共催事業	2回										
ボランティア活動延べ人数	635人										
院内コンサート	1回										



中期目標		中期計画																				
(3) 外部評価等の活用		同左																				
-	病院の運営管理や提供している医療等の情報について外部に公表するとともに、第三者の客観的な立場からの評価を受け、病院の運営体制の充実や医療の質の向上を図ること。	-	病院の運営管理や提供している医療、臨床研修プログラムについては、「病院機能評価」や「臨床研修評価」を受審し、適正な病院経営・会計執行等については、監事による監査等を実施するなど、客観的な立場からの評価等を受けます。 また、医療の質の向上に係る院外での研修受講の推進や品質管理等の民間のスキルやノウハウを活かす方策の検討などにより、病院体制の充実や適切な病院経営に努めます。																			
(4) 事務部門の強化		同左																				
-	業務執行能力の高い組織を確立するとともに、医療経営や医療事務に係る専門的知識や使命感を持った人材の確保・育成を計画的に行うこと。	-	業務執行能力の高い組織を確立するとともに、医療経営や医療事務に係る専門的知識や使命感を持った人材の採用や育成を計画的に実施します。 成果指標																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> <th>平成30年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣職員から法人職員への切り替え率(事務職)</td> <td>—</td> <td>75.0%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	平成26年度実績	平成30年度目標	派遣職員から法人職員への切り替え率(事務職)	—	75.0%													
項目	平成26年度実績	平成30年度目標																				
派遣職員から法人職員への切り替え率(事務職)	—	75.0%																				
(5) 法令の遵守等		同左																				
-	市立病院としての公的使命を適切に果たすため、医療法等の関係法令を遵守し、高い倫理観のもと、適正な病院運営を行うこと。	-	医療法や、健康保険法に基づく療養担当規則等の関係法令の遵守及び倫理意識の向上に関する研修等を職員に実施して、適正な病院運営を図ります。																			
第4 財務内容の改善に関する事項		財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置																				
1 健全経営の維持		同左																				
(1) 安定的な経営の維持		同左																				
-	静岡病院が地域医療の核として、市民が必要とする高度で良質な医療サービスを継続して提供していくために、中期目標期間を通じて、経常収支を均衡させ、安定的な経営を維持すること。	-	医療環境の変化に的確に対応しながら、収入の確保及び費用の節減を図り、市からの運営費負担金等の繰入後の経常収支を均衡させ、安定的な経営を維持します。 成果指標																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> <th>平成30年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総収支比率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>103.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>96.9%</td> <td>96.0%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 地方独立行政法人の会計基準にあわせ、医業収支比率の算定に用いた医業収益には、市からの負担金を含めていない。</p>		項目	平成26年度実績	平成30年度目標	総収支比率	100.0%	100.0%	経常収支比率	103.0%	100.0%	医業収支比率	96.9%	96.0%以上							
項目	平成26年度実績	平成30年度目標																				
総収支比率	100.0%	100.0%																				
経常収支比率	103.0%	100.0%																				
医業収支比率	96.9%	96.0%以上																				
(2) 収入の確保、費用の節減		同左																				
-	経常収支の均衡のため、収入の確保及び費用の節減について、全ての職員がこのことを意識して日頃から取り組むとともに、診療報酬改定への的確な対応や地方独立行政法人のメリットを生かした多様な契約手法の導入による調達コストの削減など、様々な機会を通じて取り組むこと。	a	収入の確保のため、以下の項目を実施します。 ア 収入の確保に向けた全職員対象の研修会等を実施 イ 診療報酬改定への的確な対応 ウ 人口減少社会における患者の安定的な確保 エ 査定状況等の傾向分析に基づく診療報酬の請求漏れや査定減防止策の関係者への周知 オ 未収金の圧縮(電話催告、外來面談等) 成果指標																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> <th>平成30年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床利用率</td> <td>95.0%</td> <td>95.0%以上</td> </tr> <tr> <td>収納率(現年度分)</td> <td>98.3%</td> <td>98.0%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>関連指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>173,291人</td> </tr> <tr> <td>外來患者数</td> <td>282,929人</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>5,197件</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>12.9日</td> </tr> </tbody> </table>		項目	平成26年度実績	平成30年度目標	病床利用率	95.0%	95.0%以上	収納率(現年度分)	98.3%	98.0%以上	項目	平成26年度実績	入院患者数	173,291人	外來患者数	282,929人	手術件数	5,197件	平均在院日数	12.9日
項目	平成26年度実績	平成30年度目標																				
病床利用率	95.0%	95.0%以上																				
収納率(現年度分)	98.3%	98.0%以上																				
項目	平成26年度実績																					
入院患者数	173,291人																					
外來患者数	282,929人																					
手術件数	5,197件																					
平均在院日数	12.9日																					

中期目標		中期計画															
		<p>b 費用の節減のため、以下の項目を実施します。</p> <p>ア 後発医薬品の積極的な採用 イ 診療材料や医薬品について、市場調査に基づく価格交渉の実施や在庫管理の徹底 ウ 契約手法の多様化(長期契約、包括的一括契約等) エ 費用節減について会議等による全職員への周知・浸透</p> <p>成果指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> <th>平成30年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品指数</td> <td>60.7%</td> <td>70.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>関連指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費比率</td> <td>41.8%</td> </tr> <tr> <td>材料費比率</td> <td>34.3%</td> </tr> <tr> <td>経費比率</td> <td>15.7%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	平成30年度目標	後発医薬品指数	60.7%	70.0%	項目	平成26年度実績	給与費比率	41.8%	材料費比率	34.3%	経費比率	15.7%	
項目	平成26年度実績	平成30年度目標															
後発医薬品指数	60.7%	70.0%															
項目	平成26年度実績																
給与費比率	41.8%																
材料費比率	34.3%																
経費比率	15.7%																
(3) 計画的な投資の実施		同左															
- 医療機器や設備の整備・更新などの投資を行う際には、その投資効果を把握し、投資後の収支の見通しを立て、アセットマネジメント(資産管理)の観点も踏まえて計画的に行うこと。	- 医療機器の稼働状況や耐用年数、新たな医療機器の開発状況、他の医療機関における機器の整備状況などを踏まえ、投資効果や投資後の収支見通しやアセットマネジメント(資産管理)等を勘案し、主要医療機器の整備計画や、施設の整備・修繕計画を策定して投資します。	<p>関連指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>減価償却費比率</td> <td>7.1%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	減価償却費比率	7.1%											
項目	平成26年度実績																
減価償却費比率	7.1%																
第5 その他業務運営に関する重要事項		その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためとるべき措置															
1 地球環境に配慮した病院運営		同左															
- 病院は、24時間稼働し、また、電力を消費する医療機器やディスプレイ(使い捨て)材料を使用する等の特徴があるため、省資源・省エネルギー、廃棄物の減量、温室効果ガスの排出抑制など、地球温暖化対策の推進と資源の有効活用に取り組み、地球環境に配慮した病院運営を行うこと。	- 環境負荷の少ない機器の購入、廃棄物の分別徹底、リサイクル推進による廃棄物の減量、ディスプレイ材料の見直し、地下水利用による水道使用量の削減、高効率機器の導入、機器の効率的な運転管理の実施等により、地球環境に配慮した病院運営を行います。	<p>関連指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気使用量</td> <td>10,535,568KWH</td> </tr> <tr> <td>ガス使用量</td> <td>1,260,576m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>水道使用量</td> <td>138,872m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成26年度実績	電気使用量	10,535,568KWH	ガス使用量	1,260,576m <sup>3</sup>	水道使用量	138,872m <sup>3</sup>							
項目	平成26年度実績																
電気使用量	10,535,568KWH																
ガス使用量	1,260,576m <sup>3</sup>																
水道使用量	138,872m <sup>3</sup>																
第6	予算(人件費の見積りを含む)、収支計画及び資金計画	【別紙のとおり】															
第7	短期借入金の限度額																
	1 限度額	【別紙のとおり】															
	2 想定される短期借入金の発生事由	【別紙のとおり】															
第8	出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産の処分に関する計画	【別紙のとおり】															
第9	「第8」の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	【別紙のとおり】															
第10	剰余金の使途	【別紙のとおり】															
第11	料金に関する事項	【別紙のとおり】															
第12	その他市の規則で定める業務運営に関する事項	【別紙のとおり】															